



おおとよ
めぐり

大豊町ってどんなところ？



四国山地のヘソ（中央部）に位置する大豊町。
徳島県と愛媛県に隣接するこの地域には**歴史と文化**が色濃く残っています。

総面積の約88%が森林で、谷の一番低いところを
四国三郎・吉野川が流れる自然豊かな町です。

人口は約3000人。標高200～850mの傾
斜地に集落が点在し、伝統や風習が多く残る町で
す。



山が踊り出す

春





タラの芽、フキ、ワラビだけで
なく、**ゼンマイ**や

山ウド、イタドリや

フキノトウなど数多くの

山菜たちも顔をのぞかせる

この時期ゼンマイの収穫で

にぎわう大豊町

その味は**山の幸**せ

そのものだ



四月



中腹の
山桜
も開花する

東北地方の桜が開花する頃

桜前線は谷から山頂に駆け上がり

桜の花が舞う

春をつげた山野草に続き



推定樹齡3000年

の日本一の大杉

その巨木は樹高約60メートル
もあり

国の特別天然記念物

に指定されている

「日本一の歌手になれるように
：」と願った美空ひばり
ゆかりの地として

遺影碑と歌碑が置かれている

五月



魅力あふれる熱い夏

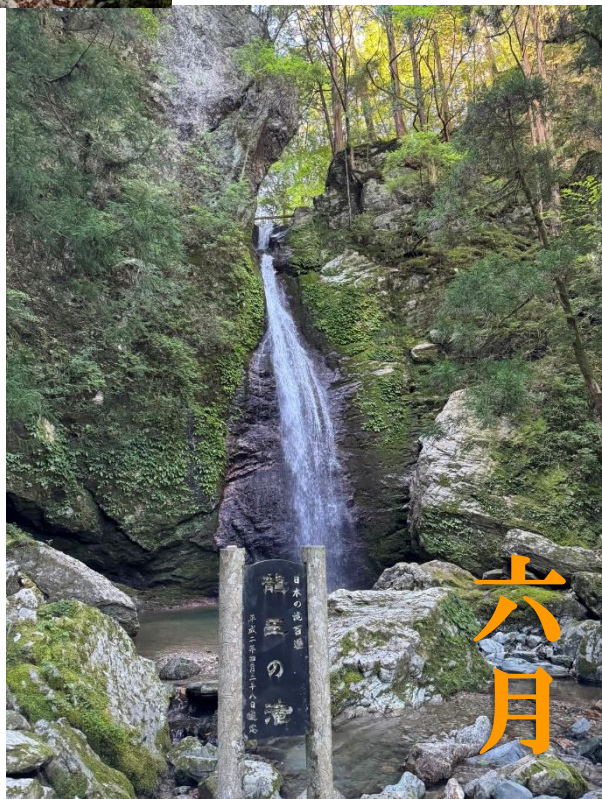


年間降水量 3000 mm

にも達する大豊町

その豊富な雨水は山を流れどこま

でも清く澄んだ川となる



六月

その澄んだ水が田畑を潤し

美味しいお米や野菜を作り上げる

日本の滝百選 土佐の名水にも

認定される「龍王の滝」が

象徴するように清く澄みわたる

七月



吉野川が流れ、比較的涼しい夏は

ラフティングや

気候を活かした夏秋野菜が作られ

町全体が活性化する

大豊町の夏の風物詩である





八月

と呼んだ

そんな風習を**施餓鬼（せがけ）**

送り火

盆の終わりに冥府へ

迎え火

盆の晩に仏様を迎え

は今でも語り継がれている

大豊に刻まれた歴史、風習、伝統





秋

色彩豊かな秋

九月

紅く燃える大豊の山々

その姿かたちは似て非なるもの

空の色、雲の形、沈む夕日

そのそれぞれが一期一会の出会い

あなたの心に

忘れられない風景を

刻んでいく

山々が紅く萌える頃夏の終わりを

告げ豊穡の喜び

秋の始まりを告げる

十月



棚田に映える **原風景**

天の恵みが穂を照らす

大豊に残る棚田の風景は

心を暖かく包み込んでいく

昔ながらの

稲架掛け（はさがけ）で

手間ひまかけて乾燥させる

陽の光をたくさん浴びた稲穂には

太陽の味が

詰まっている

十月

ひらひら散りゆく**秋の華**

大豊の山々は

山紅葉（やまもみじ）やイチヨウ

色めく木々も多く見られる

落ち葉は**豊かな土壌**を作り

春を待つ新たな命に想いを託す

定福寺で毎年行われる

紅葉まつりには

県内外から多くの観光客が訪れ
楽しまっている



冬

白き衣で包まれる冬



十二月

起伏が激しく

山々が折り重なる大豊は

日陰と日向に大きく分かれ

雪解けの早さも変わってくる

雪が降り積もった山々を

業火のように夕日が染める

山のある大豊の生活は

寒い冬を薪を使い過ごす人もいる

冬山の静かなひと時を

楽しむのだ

一月



梶ヶ森山頂では年が明け

初日の出をのぞむ人で賑わう

新たな夜明けには

定福寺の鐘が鳴り響く

今も多くの歴史跡が残る大豊に

またひとつ新たな歴史を

刻んでいく

変わりゆく時代の中、変わらぬ

日本のこころ、姿、形

がここにある

雪解けの頃

黄色く小さな福寿草の群生が

開花の時を迎える

雪の下で春を待つ山野草が

福寿草の開花を合図に

次々顔を出す

暖かな日差しが町を包み込むと

あわたたしくも

どこか心の踊る暮らしが始まる

つづく…

二月



まぼろしの発酵茶



守りたい 伝統的な食文化

日本で唯一の完全発酵茶である「**碁石茶**」。
酸味のある独特な味わいと、乳酸菌が多く含まれることが特徴。古来から受け継がれる製法により、手間暇かけて作られている。生産農家の減少もあり「まぼろしのお茶」と呼ばれている。



柚子（ゆず）

ユズの産地でもある大豊町では、10月～11月にかけて一気に収穫が行われ、町全体がユズのかおりに包まれる。
昔からユズを搾った果汁のことを「**ゆの酢（ゆのす）**」と呼び、お酢の代わりとして様々な料理の調味料として使われてきた。
大豊町だけでなく、高知の食には欠かせないものとなっている。

そば作りの文化



大豊の人々は、昔からそばの栽培、そば打ちを楽しんできました。特産品である「立川そば」をはじめ、近年、過疎・高齢化により大豊町のそば作り文化が失われつつある。



大豊町は山菜の代表格である**ゼンマイ**の有数の産地。以前は500人を超える大産地だったが、栽培や収穫作業など人手不足もあり生産農家は減少している。



収穫したゼンマイはすぐに茹でることで鮮度が保たれる。ゆで時間の目安は茎がきれいにさけるくらい。乾燥させながら揉むことで、水分をとばしていく。



1000年続く奉納の舞・神楽

語り継がれてきた 歴史と文化



各集落にある神社やお堂では、今も神祭（じんさい）という地域のお祭りが残っている。その中でも約1000年続く岩原・永渕神楽は別格で、土佐の神楽として国指定重要無形民俗文化財として登録されている。



↑ 日本三大薬師のひとつ豊楽寺



↑ 豊永郷 定福寺



← 旧立川番所書院
三大薬師のひとつ豊楽寺をはじめ、国の重要文化財である旧立川番所書院、豊永郷文化を色濃く残す定福寺など、歴史を感じる建造物も数多く残されている。

おおとよの知恵袋



私の名前はヤマガラのヤマちゃん。昭和55年に大豊町の鳥として選ばれたよ。みんな仲良くしてね！
おおとよ生活大百科として、お役立ち・お助け豆知識を集めてみたよ！

Q. どうやってゴミ出しすればいいの？

A. 大豊町専用のごみ袋があって商店などで買えるよ。缶や瓶などは専用のコンテナに入れて出そう！ゴミの分別表や収集日など、詳しくは役場で案内をもらえるよ。

Q. ゆとりすと放送ってなあに？

A. 光回線を使った町内放送だよ。朝・昼・晩に地域情報、午前中と午後にはラジオ体操が流れるんだ。町内のお知らせなども流れるよ。町民へは機材が無料貸出しになるから大豊町総務課で申し込んでね！（スマホで聞けるようにもできるよ！）

Q. 急にサイレンが鳴ってびっくりした！あれはなあに？

A. 朝、昼、夕と時報のサイレンになるよ。慣れると便利！その他にも川沿いでサイレンが鳴るときがあるよ。ダムの方流サインだから鳴ったら安全な場所にね！

Q. 大雨や台風が心配です。どんな備えをしたらいい？

A. 年間降水量が3000mmを超える大豊町では、時々停電もするよ。水道、ガス、電気が止まった時の備えは常にしておこう！

Q. 大雨の時は通行止めが起きるって本当？

A. 国道32号線は連続雨量が250mmを超えると通行止めになる区間があるよ。テレビやネット、ゆとりすと放送などで確認しよう！

Q. 大豊町では雪が積もるって本当？！

A. 本当だよ！標高が高いところほど雪が多くなるよ。陰になるところは雪が解けにくいから気を付けよう！

Q. 大豊町ではスタッドレスタイヤは必要ですか？

A. 11月から3月頃まではスタッドレスタイヤをお勧めするよ。一番標高の低い国道付近でも橋の上などは路面凍結に注意してね。標高が400mを超える場所は4輪駆動車のスタッドレスタイヤ着用がおすすめ！（チェーンなども携帯しておこう！）

Q. 地域の清掃活動ってなあに？

A. 地域によって清掃活動があるよ。山間部の集落では、年に1,2回町道などの道草刈り（道役）があるところも。少子高齢化が進む大豊町では、自分たちで使う道は自分たちで管理することも大事。みんなの交流の場にもなっているのでしっかり参加しよう！

Q. 雨の日や子供たちの遊び場に体育館を使えるの？

A. 町が管理する公共施設については、申請すれば誰でも使うことができるよ。施設によっては使用料がかかる場合もあるので確認しよう！みんなが使う場所は片付けなどもしっかりやろう！

Q. 公共交通機関ってあるの？

A. 町内に町民&スクールバス通称ゆずバスが走っているよ。停留所や時間は広報などで確認してね！高知市内～大杉駅経由～土佐町方面には路面バスもあるよ。他にも町内に7か所鉄道の駅があり、大杉駅は特急も停車するからぜひ使ってみてね！

Q. 町内に買い物できるところってあるの？

A. スーパーや商店があるよ。コンビニも1軒大杉地区にあるよ。詳しくはおおとよすみ歩きマップで確認してみてね。

Q. 病院ってあるの？

A. 町内には3つの病院と2つの歯科診療所があるよ。24時間救急に対応した病院は本山町に、土佐町にも大きい病院があるよ。

Q. 大豊町の子育て事情は？

A. 保育園は町内に2つ、小中一貫校が1つ、高校は町内になく一番近いところで本山町にあるよ。町内の子育て支援もたくさんあるよ。



他にもわからないことがあれば、気軽にご連絡ください！
元気おおとよの公式LINEグループもぜひ！



交通アクセス



車

高知IC～高知自動車道～大豊ICは約30分
高知市～国道32号～大豊ICは約45分

バス

高知市内～大杉駅経由～土佐町方面
高速バスが高知～大豊IC～大阪にあります。

JR土讃線

町内に7つ駅があります。
大豊町役場へは大杉駅にて下車

町民&スクールバス通称**ゆずバス**が町内を走っています。



制作 特定非営利活動法人元気おおとよ
TEL : 080-8635-2253
URL : <http://genki-otoyo.org/>
Facebook : NPO法人元気おおとよ

